

お客さまの声に応える明日の生命保険産業を実現するために

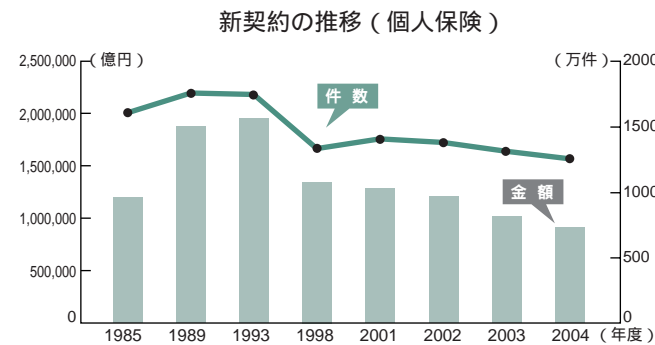
生保労連が考える生保事業の将来構想・ビジョン

わたしたちの仕事と職場が今後もお客さまの支持を得続け、一層発展していくための将来像を描くため、「生保事業の将来構想・ビジョンに関する研究会（略称：ビジョン研）」を設置し、研究を進めてきました。ビジョン研の検討の背景と、報告のポイントは以下の通りです。

生保産業・組合員の現状とわたしたちを取り巻く今後の環境

依然として厳しい生保産業を取り巻く環境

1990年代初めから、わたしたちが働く生保産業を取り巻く環境は、未曾有ともいえる厳しいものとなっています。これに対しわたしたちは、懸命な努力と旺盛なチャレンジ精神で立ち向かってきていますが、今後も予想される厳しい環境の中で、引き続き頑張り続けるためには、生保産業が将来にわたって果たすべき役割について、わたしたち自身がしっかりとした確信を持つことが必要であると考えました。



求められる環境変化への対応

生保事業の将来構想・ビジョンを検討するにあたって、わたしたちを取り巻く環境、中長期的な社会・経済環境の変化と生保市場への影響について検討しました。

そうした中で、今後わたしたちの仕事や職場にどのようなことが求められているのか、将来に向かって営業職員の役割がどのように変わっていくのか等について検討しました。

これからの市場環境と生保産業への影響

	これからの市場環境	生保産業への影響
人口動向	少子・高齢化の進展、人口減少社会	・2010年頃までは保障中核層(25～44歳)が安定的に存在 ・顧客層の拡大(女性、シニア層)が重要に
経済動向	日本経済の長期トレンドは2%程度の実質成長率	・経済の明るさにより、お客さまが十分な保障を求めるようになる可能性
社会保障制度	少子高齢化が進む中で給付のスリム化が避けられない	・公的保障のスリム化をカバーするために民間の保障商品へのニーズが高まる可能性
雇用・賃金等	人口減少下で女性や高齢者が働く必要性が高まる	・女性や高齢者の保障ニーズが高まる可能性
お客さまの意識・価値観等	お客さまの意識・価値観が多様化	・お客さまの意識・価値観の多様化にあわせたコンサルティングが重要に
	平均寿命が長くなり、老後生活を重視する意識の高まり	・老後生活を充実させたいというニーズが高まる可能性
	健康・医療・介護に関する関心の高まり	・医療技術の進歩や心身の健康へのニーズに応える新たな対応が必要

わたしたちの将来ビジョン

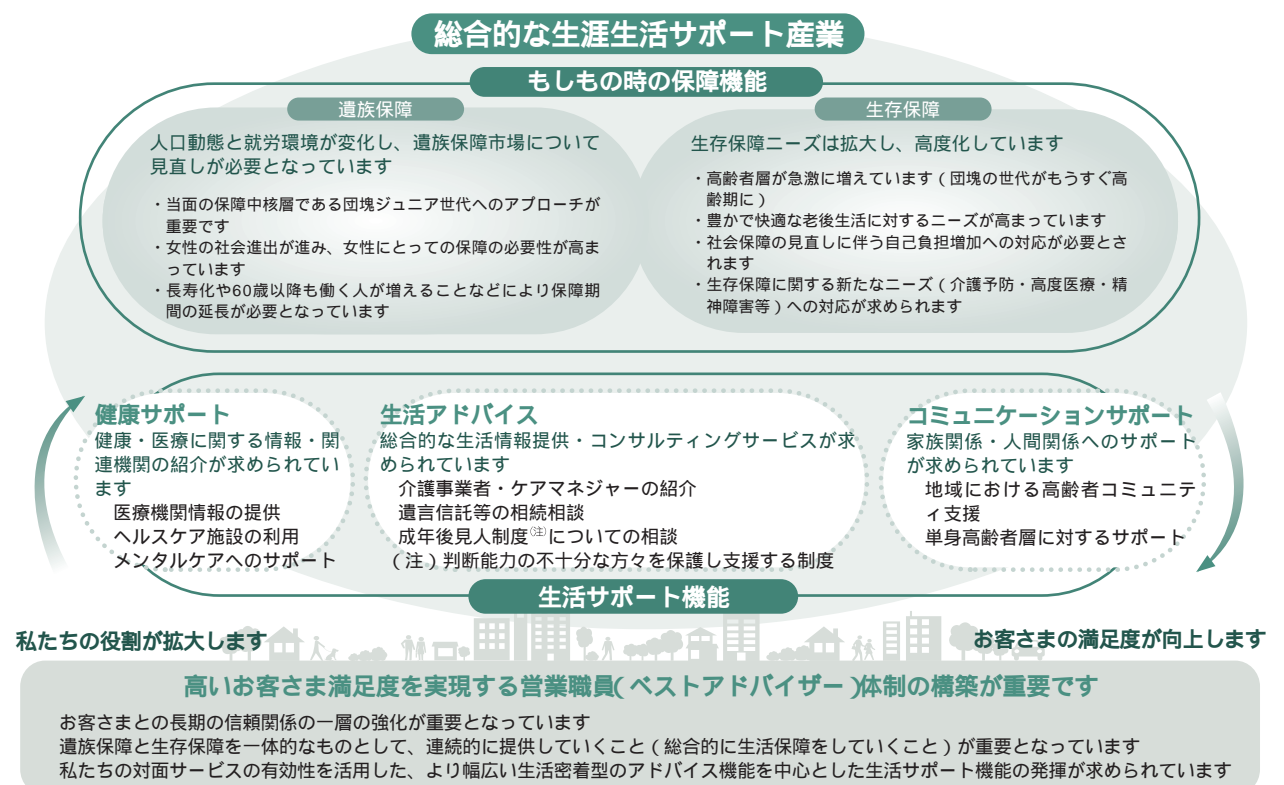
Our Vision

総合的な生涯生活サポート産業の実現を

- 経済的リスクの保障機能(ファイナンス機能)に加え、生活サポート機能を提供

わたしたちの仕事の基本的役割は、さまざまな経済的リスクの保障機能にあります。これに加えて、今後は社会経済環境の変化に伴い、生涯にわたるさまざまな生活サポート機能に対するお客さまのニーズが一層高まっていくものと考えられます。

連関の紹介などの「健康サポート」、総合的な生活情報提供・コンサルティングサービスなどの「生活アドバイス」、家族関係・人間関係へのサポートなどの「コミュニケーションサポート」などが考えられますが、こうした生活サポート機能を発揮することで、お客さまの利便性を高めることになると考えます。



ビジョンの実現に向けたわたしたちの課題

上記のビジョンを現実のものとするためには、さまざまな課題への対応が必要です。わたしたちはこうした課題に関する検討を深めるとともに、積極的にチャレンジしていきます。

4つのテーマ	課題
生保事業の社会的役割発揮	・経営の健全性確保・CSR(企業の社会的責任)の推進 ・お客さまニーズを踏まえた商品開発・関連サービスの充実
高い顧客満足度を実現する営業職員体制の構築	・営業職員体制の優位性の確保・発揮に向けて
生保事業を取り巻く環境の整備	・経済成長の確保 ・産業政策課題への対応 ・社会保障制度、医療・介護分野の規制緩和・制度改革、人口動向への対応
地域社会における生保産業と営業職員の社会的理解拡大、およびマンパワーの発揮とネットワーク構築	・学校教育における金融・保険教育の実施・充実 ・生命保険に関する意見交換の充実 ・その他の地域活動